

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公)

公表:令和 5年 1月 31日

事業所名 レイクサイド楽

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			障害特性に応じ、住み分けを実施。職員と一緒に同じ活動できる環境設定も行っている。
	2 職員の配置数は適切である	○			
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			館内、全てバリアフリー対応。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			月1回、職員会議を開催し、目標に対しての振り返りを行っている。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			ホームページにて公開している。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		法人内で年2回の内部監査を実施。その結果を業務改善に繋げている。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			法人全体、事業所での研修を定期的実施。外部研修への参加も行っている。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			アセスメント様式を使用し、年1回アセスメント見直しを行っている。課題行動があった場合は随時、見直しを行っている。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			季節に応じた活動に取り組んでいる。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			個別支援計画に添い、個々に課題や目標を設定し、長期休暇の1日利用時にはカリキュラムを作成している。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			ミーティングにて周知を行っている。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			支援記録の記入、PC上でのケース入力も実施している。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○				
関係機関や	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			児童発達支援管理者が出席している。

保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			学校からの受入時に担任教諭から報告を受けたり、電話や文書にて連絡を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			主治医との連絡は行っていないが、保護者から医師の指示を受けケアを実施している。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		現在、相談支援事業所のみとの情報共有となっているが必要に応じて対応可能。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		多機能事業所として生活介護事業の利用者との交流はある。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			法人として参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			送迎時、保護者と直接話をしたり、SNSを使用しながら、取り入れやすい環境作りをしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		相談員との連携は行っている。今後、職員間でもペアレント・トレーニングの観点について強化をしていきたい。
関係機関や保護者との連携	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約書、重要事項説明書、個別支援計画書、利用料金表にて説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		現時点では、放課後等デイサービスとしての保護者会は存在しない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			苦情受付については契約時に説明している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			
	35	個人情報に十分注意している	○			個人情報の書類に関しては、施錠できる棚で管理し、PC上ではパスワードで管理している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			写真や絵カードの伝達ツールを活用している。
保護者への説明責任等	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			コロナ禍の為、外部との交流は自粛している。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○		マニュアルは策定しており、職員間では周知をしているが、保護者には周知していない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			事業所で防火訓練や避難訓練を実施した。
非常時	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			法人内、事業所内でも虐待についての研修を行っている。

同等の対応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			ケース会議にて検討を行い、保護者の方に承諾を得ることを徹底している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			利用開始前に確認し、対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			ミーティングにてヒヤリハット報告をし周知している。